

AI for Science 革新的研究推進事業（ARiSE）の事業統括・推進統括の決定 および研究開発提案の募集について

JST（理事長 橋本 和仁）は、AI for Science 革新的研究推進事業（ARiSE: AI to Redesign Scientific Exploration）の事業統括および推進統括を決定し、本事業への研究開発提案募集を 2026 年 5 月 12 日（火）から開始しました。



本事業は、文部科学省が定めた「AI for Science の推進に向けた基本的な戦略方針」（2026 年 3 月 31 日文部科学省決定、以下「戦略方針」という。）に定められた具体的アクションを先導するフラグシップ事業として、研究活動における AI 利活用（AI for Science）において、日本の強みを最大限に活かせる戦略ターゲットへの集中投資による世界を先導する科学研究成果の創出、および世界トップレベルの研究機関・研究者との戦略的な国際連携などによる革新的な研究開発を推進します。

研究開発提案は、「AI for Science による科学研究革新プログラム AI for Science 革新的研究推進事業（ARiSE）の基本方針」（2026 年 4 月文部科学省研究振興局、以下「ARiSE の基本方針」という。）に基づいて、「戦略ターゲット型」と「国際・融合型」の 2 つの研究タイプを対象に募集します。

「戦略ターゲット型」は、ARiSE の基本方針で定められた戦略ターゲットの達成を目指す科学基盤モデル、AI エージェント、次世代 AI 駆動ラボシステムなどを一体的に開発する提案が対象です。

「国際・融合型」は、新興・融合分野や戦略方針に定められた重点分野を含むあらゆる分野を対象として、戦略的な国際連携などにより、AI for Science に係る独創的な研究やツール開発・高度化などを推進する提案が対象です。

本事業の推進・運営に関するとりまとめは、事業統括が担います。研究タイプにおける研究開発課題の選定・推進・評価などに関するとりまとめは、推進統括が担います。選考は、研究タイプごとに推進統括がアドバイザーらの協力を得ながら実施します。

<募集期間>

2026 年 5 月 12 日（火）～ 6 月 30 日（火）正午

提案募集の詳細については、別紙および以下のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jst.go.jp/program/arise/koubo.html>

<添付資料>

別紙：AI for Science 革新的研究推進事業（ARiSE）における提案募集の概要

<お問い合わせ>

<事業に関すること>

科学技術振興機構 研究プロジェクト推進部 推進第3グループ

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

今林 文枝 (イマバヤシ フミエ)

Tel : 03-3512-3528

E-mail : arise.koubo@jst.go.jp

<報道に関すること>

科学技術振興機構 広報課

〒102-8666 東京都千代田区四番町5番地3

Tel : 03-5214-8404 Fax : 03-5214-8432

E-mail : jstkoho@jst.go.jp

<科学を支え、未来へつなぐ>

例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。JSTは、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JSTは荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。

JSTは、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。

AI for Science 革新的研究推進事業 (ARiSE) における提案募集の概要

1. AI for Science 革新的研究推進事業の趣旨・特徴

本事業では、科学的理論を踏まえた AI モデル、AI エージェント、次世代 AI 駆動ロボットなどの科学基盤システムを開発し構築することで研究プロセスへの変革をもたらし、従来解けなかった科学的な問いを解明していく研究開発を推進します。また、研究力の高い同盟国・同志国などとの戦略的な国際連携などにより、日本の AI for Science の加速並びにプレゼンスの向上を目指します。

そのために本事業では、AI（数理・システム開発も含む）を専門とする研究者と AI の活用先となる研究分野の研究者が「共同代表者」として研究開発の提案から実施まで行うことを求めます。また、提案する研究開発課題を実現するために必要な計算資源の利用計画、並びに研究データの取り扱いに関する戦略および管理計画を提案時点で確認します。さらに、海外研究機関に所属する研究者かつ自国で研究開発を推進できる研究体制および研究費を確保している者などと連携する研究開発課題も対象とします。

2. 事業の運営体制

(1) 事業統括

青木 孝文（東北大学 理事・副学長（企画戦略総括）・プロボスト・CDO）

(2) 推進統括

研究タイプ「戦略ターゲット型」

黒橋 禎夫（国立情報学研究所 所長）

研究タイプ「国際・融合型」

上田 修功（理化学研究所 革新知能統合研究センター 副センター長）

3. 「戦略ターゲット型」公募の概要

「ARiSE の基本方針」に示される、以下の戦略ターゲットの実現に資する提案を募集します。また、支援期間を踏まえ、既に準備、試行を開始している取り組みを対象とします。

対象研究分野	研究費上限 *間接経費含む	採択予定 課題数
T1「戦略ターゲット1」: 将来、我が国の企業が、国際的サプライチェーン上不可欠な材料を迅速に量産することができるよう、新素材開発速度従来比 10 倍の潜在力を有する AI 駆動材料開発システムを実現すべく、		
T1-1「戦略ターゲット1-1」 推論に革新をもたらす材料科学基盤モデル及び AI エージェント群並びにそれらの国際ベンチマークを開発するとともに、終了後も継続的に必要となる計算・実験データを蓄積できる体制の構築及び資金確保 ^{注1)} を実現する。	総額 30 億円	1 件程度
T1-2「戦略ターゲット1-2」 材料科学基盤モデル、AI エージェント群、オーケストレーションソフトウェア、先端研究機器などの要素技術を統合	総額 30 億円	1 件程度

し、人と AI が共創して ^{注2)} 、推論、計画、自律実験、レポート作成までを可能とする、AI 駆動マテリアル開発システムの国際ベンチマークの開発及び概念実証を行い、民間投資 ^{注3)} を獲得する。		
T1-3「戦略ターゲット 1-3」 特定材料に係る AI モデル及び AI エージェント群並びにそれらの国際ベンチマークを開発するとともに、実際に革新的なマテリアル候補の試作に挑戦し、終了後も開発に必要な資金確保を実現する。	総額 10 億円	4 件程度
T2「戦略ターゲット 2」 将来、仮想細胞・生体モデルや、植物、動物、ヒト・臓器などの「デジタルツインモデル」を実現し、高精度かつ高効率なバイオ製品開発、創薬などにおいて我が国が国際競争力を確保できるよう、我が国の強みを活かしつつ、AI 駆動ラボシステムの開発・活用も含めた大規模なデータの取得や AI-ready データの整備を通じて、3 年後までに、高機能なバイオ製品や創薬の高効率設計に貢献するバイオ生成基盤モデルを開発する。	総額 20 億円	3~4 件程度
T3「戦略ターゲット 3」 将来、我が国が世界に誇る大型研究施設・研究装置において、高稼働率、高運転安定性、高計測性能などに向けた運転最適化、ハイスループットに向けた自動自律化、AI 駆動デジタルツインモデルなど高精度なシミュレーションを活用した仮説検証や実験計画の立案による効率的な測定・実験及び創出される大量なデータの分析能力の向上を実現できるよう、世界最先端の AI エージェント群や AI 基盤モデルを開発・実証する。	総額 20 億円	1~2 件程度

注 1) 国からの研究費に加え、企業からの共同研究開発費、会費、利用料収入などを得ることも考えられます。T1-3「戦略ターゲット 1-3」も同様です。

注 2) Human-AI Co-scientist

注 3) シードからシリーズ A 相当額以上

4. 「国際・融合型」公募の概要

新興・融合分野や戦略方針に定められた重点分野を含むあらゆる分野を対象として、研究力の高い同盟国・同志国などとの戦略的な国際連携などにより、AI for Science に係る独創的な研究やツール開発・高度化などを推進します。特に、既存の AI 技術の適用ではなく、これまで解けなかった科学的な問いの解決を目指して、特定の科学分野における固有の理論、法則、構造的知見、制約条件などを AI に組み込み、それらを学習・推論過程と統合した革新的な AI 技術 (AI 駆動型ロボットなども含む) を創出していく研究開発を推進します。

対象研究分野	研究費上限 *間接経費含む	採択予定 課題数
特に限定しない ^{注4) 注5)}	総額 2 億円 ^{注6)}	20 件程度

注 4) 提案に際して AI の活用先となる研究分野の研究者 (以下「ドメイン研究者」) の専門分野を示してください。選考では、ドメイン研究者の専門分野も踏まえて評価者が選出されません。

注 5) 海外の研究機関に所属する研究者かつ自国で研究開発を推進できる研究体制および研究費を確保している者 (以下、「国際連携パートナー」) と連携する研究開発提案も対象です。

なお、国際連携パートナーが参画する場合、5つの選考基準のうち「d.実施体制」において、国際連携パートナーとの連携実績や連携体制などの情報も加味して審査を行います。国際連携パートナーの要件は、応募要件をご参照ください。

注6) 研究開発課題の目標達成に向けて真に必要な場合は提案時点から、または一定のマイルストーンを研究開発開始後1年程度で達成した場合は追加で、総額2億円を超える予算計画も可能（ただし、研究費総額は6.5億円上限／通期、間接経費含む）です。選考において当該提案の研究開発目標に対して適切な予算規模かどうかを評価します。

5. 募集期間

2026年5月12日（火）～6月30日（火）正午

6. 研究開発実施期間

2026年10月以降～2029年3月末まで（約2.5年間）

7. 提案の応募方法

応募は府省共通研究開発管理システム（e-Rad）により受け付けます。

e-Rad ポータルサイト URL : <https://www.e-rad.go.jp/>

8. お問い合わせ

科学技術振興機構 研究プロジェクト推進部 推進第3グループ

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

今林 文枝（イマバヤシ フミエ）

Email : arise.koubo@jst.go.jp

※公募に関するお問い合わせは電子メールでお願いします。